

猿橋  
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

## タイムマシンに乗って

校長 磯部 裕之

「イチロー選手はタイムマシンである」

こんな見出しのコラムが、4年前の朝日新聞に載りました。執筆した西村欣也編集委員は、こう続けます。「なぜ、タイムマシンなのか。イチロー選手が記録を更新するたびに、先人の記録に再び光が当たるからです」当時、シアトルマリナーズで活躍し、毎年連続で打率3割を超え続けているイチロー選手は、確かに、忘れ去られようとしている先人の記録を掘り起こす、そんな役目をしているかにも思えました。

現在、そのタイムマシンの役を担っているのは、LA ドジャースの大谷翔平選手でしょう。この原稿を書いている9月20日時点で、「48本塁打・51盗塁」を達成し、夢の「50本塁打-50盗塁」の実現も目前というところまで来ています。リーグの本塁打トップとシーズン40盗塁以上を達成しているのは、過去に4人。しかも100年以上も前の記録にさかのぼることですので、改めて、この記録もすごい記録であることが分かります。

実際に、タイムマシンに乗って、150年前に猿橋小学校が開校した頃の様子をのぞいてみたらどんな姿が見られるのでしょうか。猿橋小学校は、明治7年（西暦1874年）に第八中学区公立十番小学校諏訪山校附属猿橋校という名前で開校しました。日本初の近代学校制度である「学制」が公布され「6歳になった男女を小学校に通わせること」となったのが明治5年の8月とされていますので、公布されて2年ほどでこの猿橋小学校が誕生したことになります。世の中の様子は、明治になって大きく様変わりします。「郵便制度の導入」「鉄道の開通」「小学校教育の開始」「病院・ホテル・銀行の建設」「電灯が灯る」「1日が24時間、1年が365日となる」など、私たちが暮らす「現代の礎」がこの明治時代に築かれたと言われています。猿橋小学校が開校した明治7年に小学生の年代だった偉人を調べてみると、夏目漱石7歳、津田梅子10歳、大人世代では、渋沢栄一51歳、伊藤博文33歳。お札にも描かれるような日本を大きく動かした偉人が、この150年前の時代に活躍していたことが分かりました。

2学期が始まって1ヵ月。子どもたちは持久走の練習に取り組んだり、近隣の施設に見学に出かけて学びを深めたりしています。時代は変わっても、一生懸命に教育活動に取り組む子どもたちの姿は、本当に尊いと感じます。

10月26日、猿橋小学校の創立150周年を祝って記念式典を行います。児童数の減少などにより閉校を迎える学校がある中で、150年もの間、学校として多くの卒業生を送り出してきたこの猿橋小学校の歴史にも光を当て、みんなで祝いしたいと考えています。

